

意見交換会実施報告書

開催日時		平成24年12月4日（火） 午後7時00分 ～ 午後8時30分
開催場所		登米公民館（講座室）
出席議員	代表者	佐藤 勝 司会者 佐々木 一
	報告者	中澤 宏
		記録者 伊藤 吉浩、 田口 久義、 及川 長太郎
参加市民数		12 人
実施内容報告	議会報告	○ 議会、議員活動について ○ 議会改革推進会議について ○ 議員定数について ○ 議員報酬について
	意見交換	（議員定数について） Q 30人の定数を議会としてはどう思っているのか。 A 職員は市民133人に1人。議員は2,800人に1人となっています。専門性をさらに深くしていく必要があります。 Q 削減ありきで進んでいるのではないか。現在、国の仕事を県に、県の仕事を市町村に移管の方向にある。今後、市町村の仕事が増すと思う。定員30人でも不足ではないのか。 A 地方の市町村の仕事は増加する方向にあります。財政規模は全体で800億円になっています。震災の影響で10～15年は仕事量が多くなります。 合併後、成熟していけば、仕事量は減少していきます。同じ人口規模の類似団体でも内情は違います。 Q 法定定数とは何か。いつごろ決まったのか。 A 人口5万人以上10万人未満では法定定数30人となっていました。 ○ 定数は28～30名でよい。現状のままでよい。本来なら多くてもよい。報酬は減額すべき。 ○ 人口に対してみると28人か現状のままでよい。議員が少ないのは良い面が出てこない。 ○ 現状は、各町域内の行事にも議員は顔を出せない状況である。30人でも不足している。 ○ 市の職員は削減されているので、議員も2減の28人でよい。 （その他の事項） Q 改革推進会議では何を話し合っているのか。報告書は出ているのか。 県議も3名から2名になった。日常生活では町域で見る機会がなくなった。都合がよくなったとは思わない。 選挙だけを考えるのではなく、市民、住民のため改革が必要。 A 報告書は2月定例会で市民に報告したいと思います。

		推進会議では、議会の在り方や定数等を議論している。市民のためにはどういった議会がよいのか、改めて基本に返って考えていきます。 Q 原発放射能、セシウムの影響がある。原発はやめてほしい。 A セシウム 134 の半減期は 2 年ですが、137 は 30 年になっています。放射能を浴びれば免疫力が低下し病気になります。しかし、登米市内の線量では問題ありません。市内では、米川の保育所、小学校の除染を行っています。 Q 震災復旧度合いはどうなっているのか。 A 全体の復旧額は 240 億円ほどになっています。道路が 28 億円、下水道 40 億円、水道 20 億円、学校 25 億円、公共施設 14 億円、ごみが 33 億円となっていますが、国からの補助金が来ています。 進捗は入札の不調や中止が昨年の 12 月は 60 件もありましたが、入札、契約基準の改正を行ないました。現場代理人の兼務、前払金の引き上げ、入札回数の増、入札執行の改正を行っています。工事完了は 20% ぐらいです。 Q 三日町（登米）の通りは 27 年度までに道路拡張がなされるが、登米大橋の拡張の方向性はどうなのか。 A 23 年度に補強工事はしたものの、拡張工事については県から説明を受けていません。改めて県から説明を受けたいと思います。 Q 意見交換会の回答書（第 1 回目）は全町域分が必要と思う。 A 今回は町域ごとにそれぞれ回答書を提出しています。全町域分の回答は市のホームページに掲載しております。
	要望・提言等	○ 議長、副議長の報酬が高いのではないか。 ○ 議会活動が更に充実されるよう、真剣に取り組んでほしい。 ○ 意見交換会の案内状は回覧方式のほうが市民は見ると思う。検討が必要。 ○ 三陸道付近への病院建設が必要。市内に事業所を作れば人口増加につながる。
	その他 特記事項	